

きずな

〒920-8620 石川県金沢市御所町丑10-1
URL <http://kizuna.seiryu-u.ac.jp/>
E-mail kizuna@seiryu-u.ac.jp

2002.06

事務局 TEL・FAX/076(251)9876
大 学 TEL/076(253)3924
発行責任者:中田邦雄/編集:藤弥一司

同窓会会員

現在 12,823名



新しく金沢星稜大学同窓会 としてスタート

金沢星稜大学同窓会

会長

中田 邦雄

会員の皆様におかれましては、御隆盛のごことお慶び申し上げます。

金沢経済大学同窓会は、今春、4月から金沢星稜大学同窓会と改称し新たなスタートを切りました。

折しも、金沢経済大学は、開学35周年を迎えて金沢星稜大学へと生まれ変わりました。

金沢星稜大学同窓会は、30年余の着実な歩みを刻み、歴史と伝統を育んできました。

1971年4月、192名の第1期生で発足した同窓会は、現在、1部32期生、2部28期生の約13,000名を擁して発展の一途を辿っていることは、誠に御同慶に堪えません。

今後の益々の御活躍を確信いたしております。

本会に、関東・関西・東海・新潟・富山県・加賀支部の6支部が結成され、活発に活動していることは、これからの同窓会活動に大きなパワーとなることとしよう。

全国的に同窓生が活躍していることに、大きな喜びを感じています。各支部の更なる発展を期待しています。

金沢星稜大学は、大学院(地域経済

システム研究科)の設置により、「知の殿堂」、社会貢献への第一歩を踏み出しました。

また、近い将来には複数学部制の大学となり、更なる発展を期しているものと思えます。

さて、21世紀の日本は、米国、中国との関係を無視して世界において「存在」することは出来ないと思えます。幸い金沢星稜大学にここ数年前から、中国からの留学生が数十人のオーダーで入学しています。これからの「中国ビジネス」にとって大きな財産になるものと思っています。

米国からの数十人の留学生を含め、世界から留学生が入学するようにすれば、世界に貢献する大学に大きく飛躍することとしよう。

日本の学生、世界からの留学生に「世界に通用する実学」と「誠実にして社会に役立つ人間の育成」の精神の旗を掲げたいものです。

中国の留学生と話していると、前向きな力強い「パワー」を感じます。

彼らこそが、日本のビジネス、世界のビジネスをリードする人材に成るといふ予感を感じております。

金沢経済大学を卒業した同窓会会員の一人として、「失われた日本経済の十余年」の閉塞感をブレイクスルーするために、改めて大学院で学びたい気持ちになります。

「世界と自分を豊かにし、かつ幸せにする経済学」を学びたいものです。

このように、世界に通用し、活躍する人材を育成する金沢星稜大学に、多くの学生が入学することが大学にとっての最大の課題だと思っています。

この課題に貢献することが、同窓会に求められています。

会員皆様の活躍と貢献によって、同窓会の社会的評価をより一層高めることが、ひいては、大学の評価を高め、多くの学生が入学することに繋がります。是非とも、会員皆様の同窓会への物心両面の応援をお願いします。

金沢星稜大学のコピーのひとつ「未来の星をつかもう。」の気概で、これからの人生「小さな自分・大きな夢」

「小さな同窓会・大きな未来」に生まれ変わりたいと念願しております。

金沢星稜大学シンボルマーク・ロゴタイプを新しく制定。

私たちを取り巻く社会は、生活スタイルが多様多様になりました。インターネットを代表とする情報技術の加速度的な進展により、国という垣根を超え、人・物・金という古典的な経済モデルは人・物・金・情報・時間という新しいパラダイムへシフトしています。また、著しい少子化の中で学生を獲得するために、今日の大学は、確固たる自己を構築することが必要です。



金沢星稜大学

新シンボルマークのビジュアルコンセプトは、星稜の「星」(Five Points Star) ... Authority/Academic (学問、信用、信頼、徳、歴史)、

Global(ボーダレス、国際的センス、語学、異文化交流、5大陸)、Local(金沢、歴史、古都、自然)、Networking(人的交流、情報、Internet Technology、Communication、言語)、Innovative(新しい、斬新、向上)をシンボライズし、人・情報・知識のネットワークの「Hub」たる星稜をビジュアライズしています。

5つの頂点は5大陸を結ぶグローバルセッションを、各頂点を結ぶ線はネットワークを象徴しています。



大学院地域経済システム研究科の発足

金沢星稜大学教授

大学院地域経済システム研究科科长

平館 道子

プロフィール

昭和9年9月24日 神奈川県生

学歴

昭和38年3月

経済学修士(東京大学)

昭和41年3月

東京大学大学院経済学
研究科博士課程単位取得退学

職歴

昭和45年10月

金沢大学法文学部教授

昭和55年4月

金沢大学経済学部教授

平成6年4月

金沢大学経済学部長

平成11年4月

金沢大学大学院環境科学
研究科(博士課程)科長

平成12年4月

金沢経済大学教授

本年4月1日をもって金沢星稜大学大学院修士課程地域経済システム研究科が発足いたしました。本学関係者の方々は申すまでもなく、同窓会諸先輩のご支援のたまものと深く感謝申し上げます。次第です。本学のように長い歴史をもち、地域社会を担う有能な人材が多数輩出している大学にあつて、教育研究を一層活発化し、社会への貢献をさらに高める一翼を担えるようになりたいものと希望しております。

本研究科の名称にある「地域」とは北陸地域を意味するだけのものではありません。高度情報化の進展とともに社会、経済のグローバル化がすすみつつある現在、地域とは、地域と地域、あるいは国境を越えた地域間の連携、ネットワーク化を意味するものとなっており、ローカルとグローバルをつなげた「グローバル」とも言うべきものになっています。EUは申すまでもなく、アジアにおいても協

力と連携のネットワーク化がさまざまな分野で構想され、単に競争的な側面だけでなく、社会的、経済的共生を目指して民の力が一層発揮されるようになることでしょう。

このような認識にたつて、本研究科は、地域に根ざしながらも国際的な視野をもって世界の新しい流れに対応しつつ、経済、経営に関する先端的な実学を身につけて、企業で、自治体で、教育界で、その他多様な分野で活躍できる人材を育てることを目標といたします。現在のように大きな転換点にたつている日本社会にあつては、地域の活性化に、構造改革に、国際交流の進展に、新鮮な発想とそれを展開し実現するための高度な学問的基盤をもち、自立的に活動できる若い人々がもつとも必要とされていると思います。このような社会的要請に応えることができますよう、努めてまいりたいと思っております。

それと同時にすでに社会人となられて活躍しておられる方々が、もう一度研究教育の場で新鮮な息吹にふれて、さらにご自身をきたえ、より高度な実力をつけていただくことも本研究科の重要な課題であると認識しております。そのため、社会人の方々にも学びやすくするために、講義時間帯を夕方からにおき、土曜日にも講義を行うようにしました。同窓会の諸先輩におかれましてはこの教育研究の場を利用され、一層の飛躍に役立てられますよう希望いたします。

大学院の施設は本館の8階に置かれています。ご来学のおりには気軽にどうぞね下さつて、先輩としてのアドバイスをいただければ幸いです。院生も私達教員もそのような貴重な存在を存分に活用して、研究科の充実と発展につとめたいと思います。先輩のみなさまの一層のご支援をお願い申し上げます。



新しいビジネスモデルとしての「スロー・ビジネス」の勧め

金沢星稜大学教授 大島 重衛

プロフィール

昭和23年10月23日 福井県生

学歴

昭和47年3月 金沢大学法文学部経済学科卒業

昭和55年3月

立教大学大学院経済学研究所 博士後期課程退学(単位取得)

職歴

昭和42年4月

福井県職員

昭和55年4月

財団法人 金融経済研究所 研究員

昭和62年4月

金沢経済大学 助教授

平成元年4月

金沢経済大学 助教授

平成11年4月

金沢経済大学 教授

平成12年5月

金沢経済大学 就職部長(併任)

平成14年4月

金沢星稜大学 就職部長(併任)

現在本学では、基礎セミナーⅡ、金融論、保険論、ゼミナール(専門演習)を担当。

専攻は金融制度論。

主要な論文・著書は「銀行業の特質と所謂不良債権問題」(金沢経済大学経済研究所年報(第22号))、「現代経済と金融の空洞化」(共著、有斐閣)、「金融論」(共著、青木書店)等

同窓会員の皆さん、こんにちは。

構造改革政策のもと、厳しい社会、経済環境の中で、神経が磨り減るほどに日夜奮闘されていることと思われまます。ご苦勞様です。しばし手を休めて、お付き合い下さい。

研究室の窓越しに医王の山々を眺めながら、思い浮かぶままに、社会模様的一端を記すことで、皆さんと何がしかの「きずな」をつくれなにかと希っています。

さて、のつけからですが、わが国の国内総生産(GDP)は500兆円強、国民一人あたりに換算すると500万円弱、平均的な4人家族を想定すると、一家計あたり2000万円弱にもなります。次年度への繰越分を考慮しても、家計の平均年収と比較して、どこか変に思いませんか。果たして、何兆円のGDPを実現すれば、われわれは満足できるのでしょうか。分配の問題を、経済学はないがしろにしてきたように思います。

経済活動の停滞がいわれて久しいです

が、将来への希望なり展望を描けない社会にあつては、政策当局が対症療法で何をしようか、経済活動が活発化するとは考えにくい。ここは少し回り道でも、不安を煽ることで人を駆り立てるのではなく、将来に向けて何かしたいと思わせる社会、要するに夢や希望を描ける社会を構想するときではないのでしょうか。100兆円を超える緊急経済対策が行われて、なお充分に成果をえられない現状です。いろいろな側面からの検証も必要ですが、一度、需要・供給という従来の経済学(効率性)の枠を超えた発想の転換こそ求められるのではないのでしょうか。

最近、少しずつ市民権を得つつある言葉に、ワークシェアリング(労働を分け合うこと)やスローライフ(ゆったり人生)、スローフード(ファーストフードに対抗)があります。これらの言葉には、経済学におけるKey Wordの効率性に対抗しようとする内容が含蓄されているように思えてなりません。無駄のない効率を

優先する空間世界の中で、多少「無駄」があつても、人と人との気持ちのつながりや一人一人の生活、そしてそれらを囲む環境を大事にしようとする心意気の芽吹きのようなです。効率優先の経済のなかに、人と物との関係について主客転倒した人間活動の姿を読み取り、警鐘を鳴らしているのです。効率第一の経済システムのなかで、例えば食糧など、店頭から、どれほどのものが製品のまま、日々廃棄されているのでしょうか。

人が生活をし、活動するところ、必ずビジネスが成り立ちます。「スロー・イズ・ビューティフル」の著者(辻 信一)は、「スローなビジネスは可能だ」と提唱しています。日夜経済活動にまい進されている金沢星稜大学同窓会員の皆さん、少し目線を変えて「スロー・ビジネス」についても検討されてはいかがででしょうか。

集うときに心に安らぎを感じる、そんな母校にしたいと考えています。ご健闘を祈ります。



教員、旅そして絆

経営改革推進室長 稲置 慎也

大学に入学する前から、将来の夢は教員になることと旅をすることでした。教員免許を取り、母校の星稜高校に帰って数学を担当しました。まわりの先生がほとんど恩師で、大変思われた環境にあつたのだと思います。同年に赴任した教師に、現在代議士である馳浩君がいたのは良い刺激でした。

彼は、常に目標を高く置き、自己鍛練し決してへこたれませんでした。また、先生方からの信望も厚く、男子女子生徒を問わずに人気があり、嫉妬のようなものを感じていたのを思い出します。

教員時代は、教えたというよりは一つの人生を教えていたのだと思つています。特に、二年間のホーム担任は自分の人生の中では最良の思い出です。その中でも、最後の三年目の担任のとき、やめるといふ一人の女生徒がやめないで三年間の高校生活を送ってくれたことが、自分にとつては何よりも嬉しく心に残つています。数学の授業以外に、生徒と一緒になつ

て文化祭でテナントを出して打ち上げ会をしたこと、ロックコンサートでかなりの収益をあげたこと、弓道同好会(現在は弓道部)の練習や試合の付き添いをしたこと、これらの思い出の方が楽しく、教師をやっているという実感がありません。この三年間は本当に楽しく、教員になつてよかつたと思ひました。

大学二年生のとき、北海道二十日間の旅へ三人で出かけました。北海道はラーメンがおいしい、空がきれい、湖が美しいところです。湖も阿寒湖、屈斜路湖、摩周湖などの三大湖ではなく、オンネトー、シノメコ、オコタンベコという当時三大秘湖と言われた湖です。大雪山にも登り、ときにはのどかな草原でバスを二時間待たせていたこともありました。函館から時計の逆周りをし、最後の札幌で祝杯を挙げました。一日五千円の計算で一ヶ月のバイト代をすべて費やしました。思い出に残る楽しいひとときでした。北海道のほか京都や信州、四国や中国地方そして

裏磐梯なども行きました。自分の中では、旅は大学時代でしかできなかったと思います。旅のおかげで、大学生活も実に有意義なものになりました。当然旅の費用はすべてバイトです。

この北海道で一緒に行動し、大変お世話になつた大学のT先輩、それに旅の途中で会つたTさんといまでも、「心に残る旅をする会」を結成し、いまでも同人誌を発行しています。旅のためにバイトをし、旅ですべて費やしてしまいました。人生の中の絆、特に大学や学校で培われた絆は生涯変わるものなく増え続けるような気がします。

本年、稲置学園は創立七十周年を迎えます。名称変更、大学院設置と新しく生まれ変わる大学は三十五年という年月のなかでさまざまな「きずな」が生まれたと思います。一万二千五百人を超える同窓生の皆さんはその時代時代に違いがあるかと思いますが、それらを大切にしたいと思っています。

プロフィール

昭和35年11月30日 石川県生

学歴

昭和59年3月

学校法人加計学園
岡山理科大学 理学部卒業

職歴

昭和59年4月

学校法人稲置学園 星稜高校 教員

昭和60年3月

学校法人稲置学園 評議員

平成5年6月

学校法人七尾短期大学
理事ならびに評議員

平成11年4月

学校法人稲置学園 理事

平成12年4月

特定非営利活動法人
いしかわ市民活動
ネットワークセンター 理事

校名変更の母校も、デジタル放送化する

TV局も、いま、どちらも変革の時！



卒業したのは30歳のとき、すでに3人の子供がいた。

入学したのは、確か27歳のときでしたので、もう30年も前のことになりました。その頃というのは、すでに石川テレビに入社して技術部に所属していたのですが、大学へ入学する一ヶ月前に結婚したばかりという新婚さん状態：(笑)。なぜ、そんな懐かしいときに、大学へ入ったのかと自分でも不思議な気もしますが、志としては通信技術者としての自分の視野をもっと広



石川テレビ放送(株) 放送技術局

局長 玉井 清宏

(二部 2回生)



げたかったことと、基本的な経済知識を身に付けたかったということです。いい意味での技術馬鹿という言葉もあって、それはそれで魅力的だったのですが、趣味の広さや友だち付き合いを大切にする人生エンジニア派の私としては、単純な技術馬鹿というのが嫌だったのだと思います。

ただ、志を持って入った大学での思い出と言えば、勉強のことより、やはり友達のことや時間の無い中でも一生懸命に遊びまわったこと。おかげで、その間に子供も三人できたのですから：(笑)。

学生生活での何よりの収穫は、**経世済民**という言葉を知ったこと。テレビ局の技術部にいますと、定期的に夜勤がシフトされていますので、物理的に授業に出ることができなくて単位の取得に苦労したのを覚えています。そのあ

たりのことは二部学生なら誰もが体験していることでしょう。

そんな大学生活を終えた後には、技術畑から営業畑にも守備範囲が広がって、小松支局長を経て東京本社の営業部長なども勤めさせてもらいました。たぶん、金沢経済大学での4年間でなかったら、多彩な思い出に満ちた東京時代を体験することもなかったはずですし、世の中を治め人民の苦しみを救うという「経世済民」こそが、「経済」なのだという基本を教えてくれた母校に、とにかく感謝しています。

デジタル放送が秘めている、その可能性は計り知れない！



その母校も、この春からは校名を「金沢星稜大学」と変えて、新たな飛躍を期しています。が、まさにテレビ局もまた、いま変革の真ん中に入っています。そう、「デジタル放送」というキーワードを皆さんも、近ごろよく耳にすると思いますが、

あと十年もたたずにテレビ放送のすべてをデジタル化するよう、国を挙げて取り組んでいるのです。

私自身、いまは営業畑ではなく放送技術局の局長という立場で、このデジタル放送の実施に向けての統括責任者として働い

ています。残念ながら、

ここ北陸でのデジタル放送開始の頃にはすでに定年で退社しているとは思いますが、アナログからデジタルへとというダイナミックな変革の時代に、確かな足跡を残したいものだとし心しているこの頃です。(談)



プロフィール

- 昭和20年8月9日 石川県生
- 昭和40年 陸軍電波高校専門部卒業 第1級無線通信士取得
- 昭和43年12月 親和海運入社 甲種船舶通信士取得
- 昭和51年3月 石川テレビ放送(株)入社 技術部配属 第1級無線技術士取得
- 昭和61年7月 金沢経済大学2部卒業
- 平成3年4月 営業本部長
- 平成10年4月 営業本部長



大学院 新しい経済の枠組み「地域経済システム」

教育研究チャート

本研究科の教育・研究の推進にあたっては、世界の学術研究の動向および経済・社会情勢の変動に的確に対処できるようにします。チャートは研究分野と、おもな科目のテーマを示します。



平成13年度金沢経済大学同窓会総会開催

平成13年度総会が金沢経済大学講義室401号室に於いて、10月27日(土)午前11時より開催されました。会長の挨拶の後、会則に基づき中田会長が議長となり議題の審議に入りました。

役員(案)を会長より説明・提案した後、審議し承認されました。総会終了後、総会出席者は、当日開催されている「経大祭」の展示物を見て回り、途中、模擬店で食事をしながら「経大祭」の参加者と一緒に懇談していました。

中国留学生との懇談会を開催

2001年11月18日、同窓会として初めて中国からの留学生と懇談会を開催しました。

中国からの留学生5名と澤信俊国際交流センター長、同窓会からは中田会長、三好、菅村両副会長が出席して、金沢スカイホテルにて懇談。

懇談会は、同窓会からの出席者の自己紹介に始まり、留学生の自己紹介は中国の出身地の状況を交えての紹介。1年次生から4年次生、女性3名と男性2名のバラエティに富むメンバーで、中国の出身地もバラエティいっぱいでした。

日本に来てからのこと、大学に入学(留学)してからのこと、いろいろな話題で話しが

弾み、大変有意義かつ楽しいひとときでした。金沢星稜大学にとって、留学生なくしては「元気」は出ないように思えるようです。日本の学生にとっても刺激になるものと思えました。

【追記】2001年12月8日(日)、懇談会に出席した5名が会長宅において懇親会を開催。再会して今後、3回4回と交流して懇親を深めて行きたいと思いました。家内の手作り料理と酒を酌み交わしながらの楽しい懇親会となり、自分の子供のような留学生にやさやかな応援が来ればと思えました。クリスマスには、留学生から「蘭の花」や「中国の酒」をプレゼントされて感激し、ハッピーな年末となりました。(中田記)

金沢星稜大学同窓会 役員

氏名	部・期別	勤務先	新任・再任別
相談役			
東川 孝典	(I・1)	金沢信用金庫	(再任)
安藤 至	(I・1)	自営業	(新任)
水谷内 徹也	(I・1)	富山大学経済学部	(新任)
紺谷 澄夫	(I・3)	能登印刷(株)	(新任)
鶴島 秀樹	(I・4)	(株)金沢スカイホテル	(新任)
芝田 義則	(II・1)	稲置学園本部	(新任)
西野 正則	(I・9)	星稜女子短期大学事務局	(新任)
南 歳幸	(II・5)	石川県立中央高等学校	(新任)
寺田 利恵子	(II・3)	星稜女子短期大学	(新任)
会長			
中田 邦雄	(I・1)	石川県庁	(再任)
副会長			
三好 研一	(I・1)	(株)三好塗工	(再任)
鳥居 茂	(I・1)	日本エージェンシー(株)	(再任)
菅村 洋一	(I・2)	自営業 デザインオフィスモアレ	(再任)
常任理事			
小嶋 一夫	(I・3)	ホリデイイン金沢	(再任)
清水 実	(II・1)	星稜女子短期大学事務局	(再任)
田中 洋之	(I・2)	稲置学園本部	(再任)
松浦 勉	(I・8)	協同組合 石川県観光物産館	(再任)
忠村 健司	(I・12)	(株)忠村水産	(再任)
上野 雅司	(I・3)	(株)デライト	(新任)
畑山 茂久	(I・4)	金沢吹付工業(株)	(新任)
藤弥 一司	(II・2)	(株)丸藤	(新任)
野呂 秀春	(I・11)	アピックスタジオ金沢	(新任)
西田 哲次	(I・12)	金沢商工会議所	(新任)
砺波 宏成	(I・19)	(株)橋本確文堂	(新任)
監事			
池尾 博	(I・1)	石川銀行	(再任)
森 寿	(I・1)	金沢信用金庫	(再任)



【懇談会出席者名簿】※開催時の年次です。
 ・李 連華 (リーレンカ)
 4年次 男性 星稜大学今春大学院進学 ハルビン市
 ・金 香順 (キンコウジョン)
 3年次 女性 小西ゼミ(星稜大学・北京市)
 ・張 権玲 (チャウケンレイ)
 2年次 女性 海南省三亜市
 ・郝 拯輝 (ホウジョウキ)
 1年次 男性・重慶市
 ・姚 茜 (ヨウシン)
 1年次 女性 遼寧省瀋陽市

母校の更なる発展をめざして、平成十四年度常任理事会開催。平成十三年度決算書と平成十四年度予算案を審議し承認。

(本来なら理事会において承認後、掲載するべきところですが、発行日が早くなりましたので掲載しました。ご諒承していただきるようよろしくお願いたします。)

稲置学園創立 70周年記念事業

メインテーマ

「人づくり70周年を祝う会」

サブタイトル

稲置学園創立70周年
記念祝賀パーティー

【主催】稲置学園同窓会

【日時】平成14年10月5日(土)
午後6時～

【会場】ホテル日航金沢

【会費】10,000円

※金沢星稜大学同窓会
会員多数参加して
お祝いしたいと思います。

平成13年度 金沢経済大学同窓会決算書 (自平成13年4月1日 至平成14年3月31日)

〔収入の部〕

(単位:円)

科目	予算額	決算額	備考
前期繰越金	6,177,653	6,177,653	
入会金	4,950,000	4,950,000	I部417名 II部78名 495名×10,000円
受取利息	5,000	2,803	北国768、石川14、金信52、郵便局1,969
雑収入	80,000	89,488	JCB提携手数料82,488、名簿代金7,000
合計	11,212,653	11,219,944	
〔支出の部〕			
事業費	900,000	859,488	会誌「きずな」発行744,723、ゴルフコンペ65,100、留学生との懇談会49,665
人件費	600,000	535,050	
通信費	1,400,000	1,237,879	きずな発送代1,053,090、案内発送137,530、はがき17,010、電話料金30,249
消耗費	150,000	105,866	コピー代、用紙、長3封筒80,220、インク等
在校生補助	800,000	1,260,000	陸上1,060,000、空手30,000、テニス60,000、剣道30,000、卒業パーティー80,000
理事会費	350,000	390,275	7/28 金沢スカイホテル
支部運営費補助	300,000	100,000	関西支部50,000、富山県支部50,000
旅費交通費	300,000	117,260	関西支部60,480、富山県支部12,600、支部長(理事会出席)44,180
広告費	100,000	20,000	大学祭実行委員会
機器備品費	300,000	239,820	パソコン購入(IBM)、周辺機器購入
委託手数料	700,000	475,125	HP企画・作成費、更新手数料
予備費	200,000	10,000	星稜同窓会40周年祝金
次期繰越金	5,112,653	5,869,181	
合計	11,212,653	11,219,944	

■特別会計(同窓会館積立金)内訳

住友貸付信託 15,000,000円
変動金利定期預金 11,000,000円
住友金銭信託 580,805円
住友普通預金 14,286円
計 26,595,091円

■次期繰越額内訳

北国 普通預金 3,486,929円
金信 普通預金 207,138円
郵便局 2,175,114円
計 5,869,181円

平成14年度 金沢星稜大学同窓会予算書 (自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)

〔収入の部〕

(単位:円)

科目	予算額	査定額	備考
前期繰越金	5,869,181		
入会金	4,060,000		I部372名 II部34名 406名×10,000円
受取利息	5,000		北国、石川、金信、郵便局
雑収入	10,000		名簿代金
合計	9,944,181		
〔支出の部〕			
事業費	900,000		会誌「きずな」発行、ゴルフコンペ
人件費	600,000		
通信費	1,400,000		きずな発送代、案内発送、はがき、電話料金
消耗費	150,000		コピー代、用紙、長3封筒
在校生補助	1,200,000		陸上、空手、テニス、剣道、卒業パーティー
理事会費	350,000		
支部運営費補助	300,000		関東、関西、東海、加賀、富山県、新潟 各50,000
旅費交通費	300,000		関東、関西、東海、加賀、富山県、新潟 各支部
広告費	100,000		大学祭実行委員会
機器備品費	300,000		本部・支部旗作成
委託手数料	400,000		HP企画、更新手数料
予備費	200,000		
次期繰越金	3,744,181		
合計	9,944,181		

●同窓会会長年間職務日誌●

月日	行事名	場所
H13/4/6	大学入学式	稲置記念館講堂
4/11	三役会議(会長・副会長)	ガスト(レストラン)
5/23	稲置学園評議員会	金沢経済大学会議室
5/28	稲置学園評議員会	金沢経済大学会議室
6/3	関西支部総会・懇親会	神戸東急イン
6/9	稲置学園同窓会連絡協議会	メルパルク金沢
6/23	常任理事会	ホリテイ・イン金沢
7/9	稲置学園評議員会	金沢経済大学会議室
7/28	大学同窓会理事会	金沢スカイホテル
9/5	三役会議(会長・副会長)	ガスト(レストラン)
9/19	稲置学園同窓会役員会	メルパルク金沢
10/7	工大祭	金沢工業大学
10/13	「公開学術講演会」	金沢経済大学
	北陸大学学園祭	北陸大学
10/20	清鐘祭	金沢学院大学
	富山県支部総会・懇親会	高志会館
10/27	大学同窓会総会	金沢経済大学
	星稜高等学校同窓会40周年記念行事	学校・ホテル日航金沢
11/3	金大祭	金沢大学
11/9	稲置学園同窓会連絡協議会	メルパルク金沢
11/10	「公開シンポジウム」	金沢経済大学
11/15	東京芸術大学キャンパス見学	東京芸術大学
11/18	金沢経済大学留学生(中国)との懇談会	金沢スカイホテル
12/8	金沢経済大学留学生(中国)との懇親会	会長宅
12/15	常任理事会	ホリテイ・イン金沢
12/19	稲置学園同窓会役員会	メルパルク金沢
H14/1/31	理事長・学長と面談	金沢経済大学
2/8	稲置学園同窓会懇親会	金沢スカイホテル
2/16	常任理事会	金沢経済大学
3/2	金沢経済大学留学生(中国)との懇親会	会長宅
3/9	金沢経済大学卒業記念パーティ(Ⅱ部)	ぶどうの木(片町店)
3/14	金沢経済大学学位授与式	稲置記念館講堂
	金沢経済大学卒業記念パーティ(Ⅰ部)	金沢東急ホテル
3/18	稲置学園評議員会	金沢経済大学会議室

参加者募集

同窓会ゴルフコンペ

7月28日(日)
 〔場所〕白山カントリークラブ
 松風コース 8時52分スタート
 〔集合時間〕8時30分
 〔会費〕5,000円(プレー費各自負担)
全国有名OBゴルフ大会

10月19日(土)
 〔場所〕ツインフィールド
 時間未定
 ※昨年3チーム編成で参加、団体7位
 会費は同窓会が負担します。
 プレー費は各自負担です。
 4チーム16名まで受け付けます。
 申し込みは事務局までお願いします。

編集後記

さわやかな新緑の季節となり皆様におかれましては一日一日を大切にしながら頑張っておいでることと拝察申し上げます。
 さて昨年大学同窓会常任理事に選ばれ広報委員長の大役を任命されました。早速同窓会誌「きずな」の編集の役をおおせつかり何もわからないままがむしやらの仕事をさせていただきました。何分にも未熟ではあります。今後もご指導の程よろしくお願い申し上げます。
 と、ここで当面の目標は稲置学園創立70周年記念事業であります。金沢星稜大学同窓会としても全力をあげ成功裡におさめるために頑張る所存であります。同窓生の皆さんにおかれましては出来る限りのご協力をいただけたらと存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。「きずな」第13号をお届けします。新しい同窓生の皆様も是非一読いただいたければうれしく思います。
 広報委員長 藤弥一司

各支部総会・懇親会開催日程表

● 関西支部

〔日時〕平成14年6月30日(日)午後1時
 〔場所〕ニューオーサカホテル(新大阪駅前)
 ☎06-6330512345
 ※澤 信俊教授の講話を聴く予定

● 加賀支部

〔日時〕平成14年6月 開催予定

● 新潟支部

〔日時〕平成14年7月21日(日)
 〔場所〕未定

● 富山県支部

〔日時〕平成14年9月28日(土)
 〔場所〕高志会館

関東支部(支部長 山根孝二)、東海支部(支部長 齋藤周二)においては、現在開催を検討中。
 各支部総会・懇親会の開催についてのお問い合わせ、出欠の返事は、金沢星稜大学同窓会事務局へ
 電話・FAX・Eメールで連絡して下さい。

富山県支部第1回総会開催される。

富山県支部設立準備会は、一昨年(平成12年9月24日(日))於：名鉄トヤマホテルの開催から約1年、第1回総会が、平成13年10月20日(土)午後6時より富山市「高志会館」に於いて開催されました。
 一昨年は、準備会ということでは何となくきこえないスタートでしたが、今回は、1年ぶりの再会とあって開会前から出席者はそれぞれ声を掛け合うなど和気あいあいの雰囲気でした。

石川県に次いで2番目に会員が多い富山県支部(約1,700名)。金沢より中田同窓会長、三好、菅村両副会長が出席しました。
 山崎善善支部長、島久雄副支部長、奥野嘉雄相談役ら出席者は、支部会員の親睦と、大学への富山県からの入学者増が支部の大きな役割であることを確認した総会でした。ただ、もう少し集まってくれればの思いを残した総会でありました。